

## 2015年度 事業実績

### 1 概要

後援会は、新たに1支部（ジェイリース支部）が設立され、会員数4,753名、会費収入19,111,000円となり、大分フットボールクラブ（以下大分FC）へ11,466,600円の財政支援を行いました。しかしながらチーム成績が厳しいこともあり、会員数は2014年よりも若干増やしたものの、会費収入は若干減少し、当初目標としていた14,300,000円の財政支援に対して未達に終わりました。その中で会員数のおよそ61%にあたる2,886名が支部所属会員であり、後援会の安定した会員数確保に向けた大きな力となっています。その一方で、ほとんど活動のできていない支部のあることも事実である。

### 2 後援会支部活動について

2015年6月に職域支部としてジェイリース支部が発足し、地域支部17支部、職域支部14部となり、31支部となりました。

### 3 選手会とタイアップした主な実施イベント

1月18日	佐伯支部イベント	為田選手、佐藤選手
1月21日	津久見支部イベント	上福元選手、風間選手
2月14日	豊後大野支部イベント	風間選手、姫野選手
2月20日	アルメイダ病院支部イベント	若狭選手、風間選手
2月22日	監督・選手激励会	田坂監督、全選手
4月 3日	明治安田生命支部イベント	山口選手、松本怜選手
5月21日	大分東支部イベント	伊佐選手、風間選手
6月 7日	佐伯支部イベント	三平選手、坂井選手
7月30日	中津市役所支部イベント	松本昌選手、坂井選手
10月10日	別府亀川ニータン支部イベント	修行選手、金井選手

### 4 その他の主な後援会PR活動、イベント

ダイハツ九州他スポンサー企業イベント、商業施設でのイベント、ファン感謝デー等の多くのイベント、支部主催のPR活動を行ってきました。

### 5 各支部による観戦バスツアー（助成金分以外も含む）

- 3月15日 佐伯支部
- 4月11日 佐伯支部

- 4月19日 佐伯支部
- 4月29日 佐伯支部
- 5月9日 明治安田生命支部 (2試合分)
- 5月24日 佐伯支部
- 5月31日 津久見支部 (北九州アウェー)
- 8月1日 豊後大野支部 (福岡アウェー)
- 8月8日 佐伯支部
- 9月13日 佐伯支部
- 10月25日 佐伯支部
- 11月1日 玖珠九重支部
- 11月1日 佐伯支部
- 11月23日 佐伯支部
- 12月6日 佐伯支部

## 6 後援会入会推進活動

- ・2015年監督・選手激励会開催
- ・スタジアムでの入会促進チラシの配布ならびにブースでの入会事務
- ・大分総力戦への協力
- ・ハーフタイム抽選会の拡大
- ・ホームゲームでの初の「後援会DAY」の開催

### (総括)

既存の後援会各支部の協力に加え、新たな支部も立ち上がり、31支部になったものの、活動がここ数年休止状態となっている支部への働きかけがまだ不十分であった。また、チームの厳しい成績の中2014年よりも特典経費を上澄みしてPRに務めたが、会員数は若干増えたものの、会費収入は伸び悩み、財政支援金の確保が厳しい状況になった。

今後は、引き続き新たな会員獲得のため新支部設立を目指すとともに、既存支部への積極的活動の促進、休止支部へ実情を踏まえ、次年度は踏み込んだ形での対策が不可欠である。また、大分FCが展開するホームタウン活動と連携をとり、大分FC、各自治体、各後援会支部が参加・協力するイベントを実施し、会員増、大分トリニータへの支援増を実現していきたい。大分FCは債務超過の解消したもののファンドへの返済が残っており真の意味での再生はまだまだで経営基盤は脆弱であり、新年度はJ3での戦いとなり、厳しいかじ取りとなる中で今まで以上の財政支援金の拡大が必要である。さらにそのためにも、各支部、各会員と選手やチームとのふれあいを増やしながらか、共に支えていることが認識できるような取り組みを増やせるような組織体制になれるよう努めていかなければならない。引き続き、各支部、各会員におかれましては、大分FC支援の輪を広げる活動の積極的な展開をお願いいたします。